

喜怒哀楽 地方にこそニュースがある

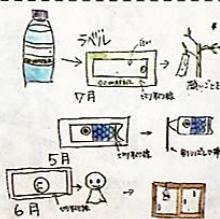
関西 知 探解

令和元年のシカケコンテスト 主な入賞作品



凍るおもちゃが見たいぞー!

• かき氷のタッパーにお気に入りのおもちゃを入れて凍らせる。おもちゃごと凍った氷のかたまりをお風呂に入れて、おもちゃがどんな様子で溶けるのかを見て、楽しめば、小さい子供でも、お風呂に入るのを嫌がらず楽しめる仕組み



ラベルの行く先

• ペットボトルを捨てるさい、ラベルを剥がしたくなるように切って使える柄にする。たとえば7月は七夕の短冊にする



小銭が邪魔な大人と 小銭で遊びたい子どもの おみくじマシーン

• 大型スーパーなどで小銭を入れてできるおみくじマシーンを階段の踊り場の見える位置に設置する。すると、小銭が邪魔だと思っている大人と、おみくじをしたい子供の利害が一致して階段を上る。大人は子供から目が離せないので一緒に上ることになる

! ? たっかかにけ掛け仕

今年1月、自転車の迷惑駐輪を防止する対策として、大阪府豊中市の北大阪急行・千里中央駅近くの歩道にチューリップの花壇を描いたシート（縦1・2m、幅1・6m）が5枚貼り付けられた。2mほど離れると花壇が立体的に浮かび上がつて見える。

「少しの工夫でつい人が行動したくなる仕掛け」を集め、「なんとかならないかな」と感じたのがきっかけ。「人はきれいなものを

発想の原点は、母親を気遣う優しい気持ちだ。迷惑駐輪のせいで狭くなった歩道で、妹を乗せたペダルカーを窮屈そうに押す姿を見て「なんとかならないかな」と感じたのがきっかけ。「人はきれいなものを

問題解決導かれた !!



歩道に出現したチューリップ花壇のトリックアートを不思議そうにみつめる男児=大阪府豊中の千里中央駅近くの歩道（吉国在撮影）

町にあふれる「ついしたくなる」

ふと自分の行動が誰かの意図通りに誘われた経験はないだろうか。レジ前の足跡のマークの上に立つたり、男性用小便器の目的をと狙つてしまつたり。結果的に、店には整然とした買い物客の列ができる。トイレの尿の飛散は防がれ難い。トレイの尿の飛散は防がれ難い。トイレの尿の飛散は防がれ難い。大阪大大学院経済学研究科の松村真宏教授だ。ローマの観光名

大阪大大学院 松村真宏教授

所「真実の口」を模した消毒器は大阪大医学部付属病院（大阪府吹田市）に一時登場して話題に。思わず手を入れたくなる仕組みで、設置前はまだ未満だった利用者が15歳まで増えたといつ。松村教授は「賞罰や規制で行動を変えるとするのが大人のやり方」としながら仕掛けはその反対と説く。「強制ではなく、自主的にその行動を選ぶことに誘うこと」で社会問題の解決につながる仕掛けもあることがあるはず。多くの人に楽しみながら考えてみてほしい」と呼びかけている。

チューリップの花壇があるから駐輪はやめておこう。歩道に花壇が浮かび上がるの自転車は置けない」という人々の心理を突いたアイデアの発案者は小学2年生。子供に対する「仕掛け」のコンテストで発掘された。仕掛けを思いついたことは子供の課題解決力を養うにも役立つといつ。

(吉国在)

優しく楽しい子供のアイデア

幻の花壇



ナイス発想

ユニークな駐輪防止策を生んだシカケコンテストは、人がつい行動したくな

る現象や効果を研究する

実験は「迷惑駐輪がゼロにな

ったわけではないが、多少は効果があった」と手応え

を語る。実験は4月中旬ごろまで継続して効果を検証し、他の区域に広げるかどうか検討する。

普段からこの歩道をよく通るという近所の70代の男性は「迷惑駐輪は減ったと思う。歩いていて気分も悪い」と笑顔を見せた。市の担当者も「駐輪がゼロになつたわけではないが、多少は効果があった」と手応え

を語る。実験は4月中旬ごろまで継続して効果を検証し、他の区域に広げるかどうか減ったという。

普段からこの歩道をよく通るという近所の70代の男性は「迷惑駐輪は減ったと思う。歩いていて気分も悪い」と笑顔を見た。市の担当者も「駐輪がゼロになつたわけではないが、多少は効果があった」と手応えを語る。実験は4月中旬ごろまで継続して効果を検証し、他の区域に広げるかどうか減ったという。

「仕掛け」を研究する大阪大が出来る装置を開発した坂本優季さん。苦手な水槽掃除をする気にさせる仕掛けだ

普段からこの歩道をよく通るという近所の70代の男性は「迷惑駐輪は減ったと思う。歩いていて気分も悪い」と笑顔を見た。市の担当者も「駐輪がゼロになつたわけではないが、多少は効果があった」と手応えを語る。実験は4月中旬ごろまで継続して効果を検証し、他の区域に広げるかどうか減ったという。

普段からこの歩道をよく通るという近所の70代の男性は「迷惑駐輪は減ったと思う。歩いていて気分も悪い」と笑顔を見た。市の担当者も「駐輪がゼロになつたわけではないが、多少は効果があった」と手応えを語る。実験は4月中旬ごろまで継続して効果を検証し、他の区域に広げるかどうか減ったという。

普段からこの歩道をよく通るという近所の70代の男性は「迷惑駐輪は減ったと思う。歩いていて気分も悪い」と笑顔を見た。市の担当者も「駐輪がゼロになつたわけではないが、多少は効果があった」と手応えを語る。実験は4月中旬ごろまで継続して効果を検証し、他の区域に広げるかどうか減ったという。

普段からこの歩道をよく通るという近所の70代の男性は「迷惑駐輪は減ったと思う。歩いていて気分も悪い」と笑顔を見た。市の担当者も「駐輪がゼロになつたわけではないが、多少は効果があった」と手応えを語る。実験は4月中旬ごろまで継続して効果を検証し、他の区域に広げるかどうか減ったという。

普段からこの歩道をよく通るという近所の70代の男性は「迷惑駐輪は減ったと思う。歩いていて気分も悪い」と笑顔を見た。市の担当者も「駐輪がゼロになつたわけではないが、多少は効果があった」と手応えを語る。実験は4月中旬ごろまで継続して効果を検証し、他の区域に広げるかどうか減ったという。

よしくに・あり



平成25年入社。今年2月から、大阪府高槻市や豊中市を中心とした北摂地域を担当している。子供のころから仕掛けを考えること自体が柔軟な発想を養う教育にもつながると感じた。私も5歳の息子と、ワクワクするような仕掛けのアイデアと一緒に考えてみようと思う。

レイアウト：荒井薫 グラフィック：森口友也